

骨転移CB公開講座

がん骨転移と向き合う 模擬キャンサーボード体験

※キャンサーBOARD(CB)とは、がん患者さんの症状や状態、治療方針などを検討するために、複数の診療科の医師・薬剤師・看護師・療法士などの専門家が集まって行う会議です。各分野の知識を統合し、個々の患者さんに最適な集学的治療方針を決定します。

医療従事者が模擬キャンサーBOARD(CB)で議論を行い、患者・市民の参加者には聴講を通してがん骨転移への理解を深めていただきます。

続く質疑や意見交換では、互いの視点を共有する学びと交流の場をつくります。

日時：2月15日(日) 13:00-15:30

会場：大阪国際がんセンター 6階 中会議室

(大阪市中央区大手前3丁目1-69) +Zoom ※ハイブリッド開催

対象：医療従事者／がん患者・家族／一般

定員：会場50名、オンライン100名

お問い合わせ：e-mail : walk.together.japan@gmail.com 電話 : 080-5316-8872

QRコードより
申し込みフォームへ
入力してください。



開催目的

医療者への啓発

骨転移CBの重要性・設置の意義、包括的支援のあり方の多職種にわたる理解促進・地域連携・相談体制(地域コンサルテーション)の強化を促します。

市民・患者への情報提供

骨転移に関する基礎知識、治療・支援の選択肢、生活との両立方法などをわかりやすく紹介の強化を促します。

対話の創出

質疑や意見交換を通じ、医療提供者・患者・市民の間で相互理解の場を創る。



開会挨拶・趣旨説明

骨転移対策プロジェクト
Walk Together代表
大阪国際がんセンター
整形外科副部長・
リハビリテーション科部長
田宮 大也



講演

奈良県総合医療センター
総合診療科部長
東 光久 氏



模擬キャンサーボード

医師、看護師、薬剤師、療法士、
がん相談支援専門員 等

CB検討結果への

質疑応答、参加者意見交換

がん骨転移対策のホームページがあるのを
ご存知ですか？



主な内容

- 骨転移の説明
- 身を守るために必要な情報
- 医療機関の情報
- 骨転移患者の体験談



お役に立てる情報が満載です。ぜひ一度ご覧ください。

骨転移対策プロジェクト



www.walk-together.jp/



“Walk Together”に込めた願い

がん骨転移により病的骨折や麻痺が発生すると、歩くことが不自由になったり、二度と再び立って歩くことができなくなります。進行がん患者にとって、家族や人とのつながりの中で過ごせる時間はとても貴重です。そんなとき、大切な人とともに歩ける体を維持できるようにという思いがあります。そしてもっと大切なことは、ただ患者の権利を主張するのではなく、診療体制の整備の問題とどうらえ、激務の中診療に向かっている現場の医師にとても望ましい体制づくりを、医療関係者、患者団体、メディア、行政などが一体となって、ともに歩むことを基本理念とします。

運営：骨転移対策プロジェクト Walk Together 事務局 〒530-0034 大阪市北区錦町 3-1-101 ユニバーサル患者支援センター内

主催：骨転移対策プロジェクトWalk Together

共催：大阪国際がんセンター NPO法人がんと共に生きる会 25周年委員会、NPO法人大阪がんええナビ制作委員会
後援：日本がんサポートイブケア学会、日本がんチーム医療研究会、WJOG西日本がん研究機構、大阪成人病予防協会